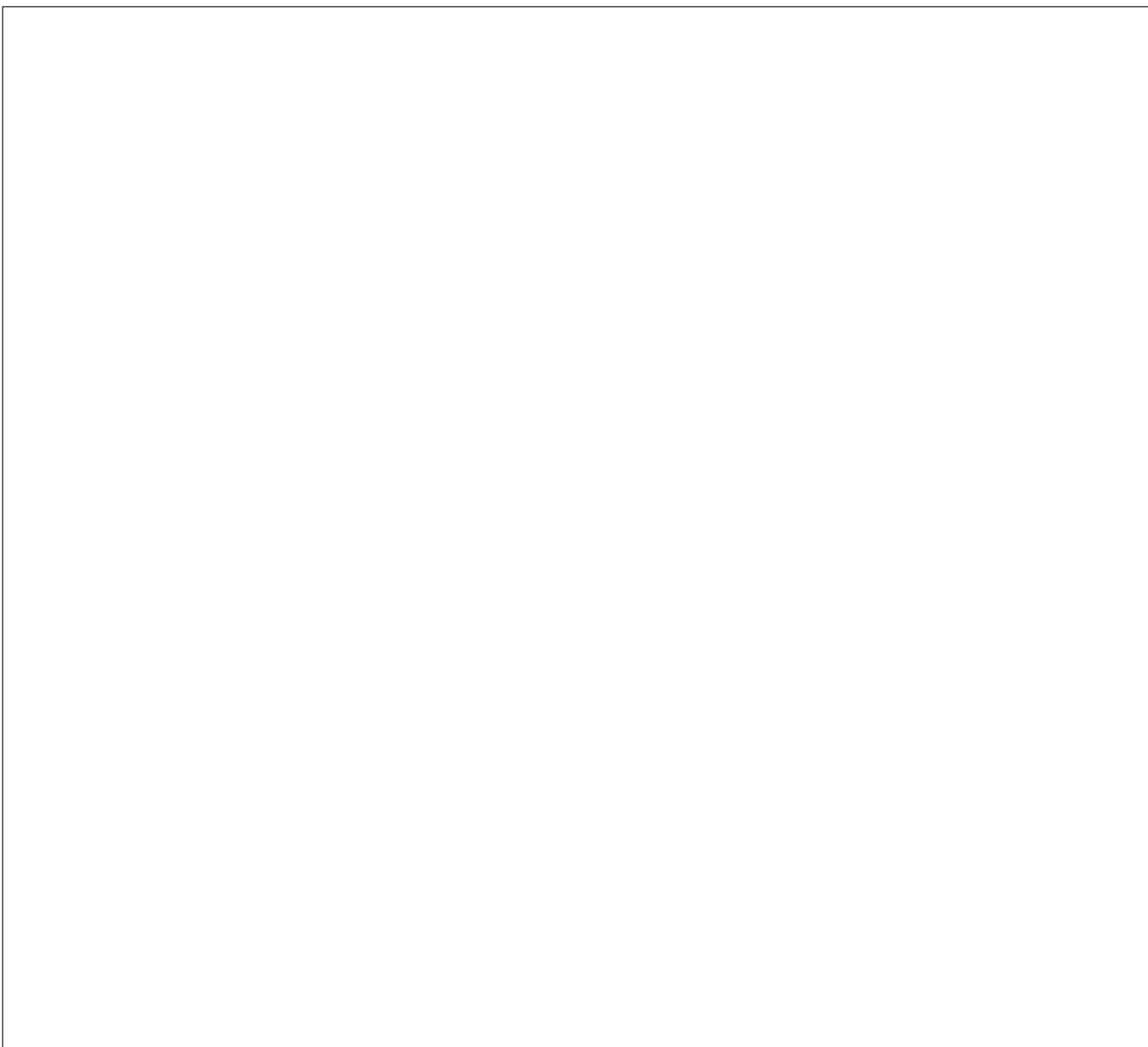


Panasonic®

HDD Viewer 取扱説明書

デジタルディスクレコーダー

品番 WJ-HD180



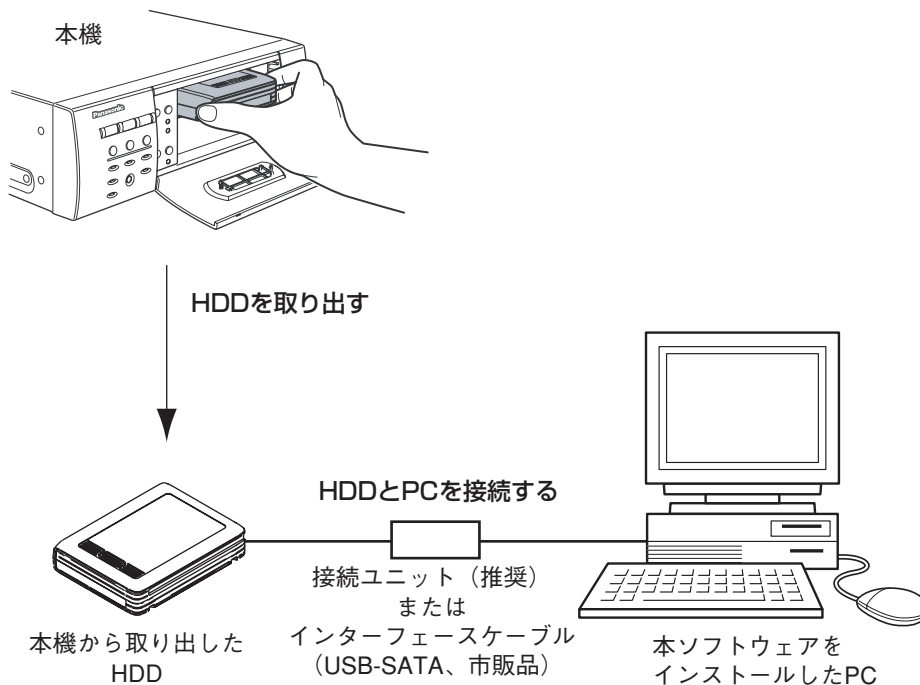
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書（PDFファイル）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

はじめに

商品概要

本書において、本機とは、デジタルディスクレコーダー（WJ-HD180）の呼び名として使用します。HDD Viewer（以下、本ソフトウェア）は、本機に搭載してあるハードディスクドライブ（大容量記憶装置の1つです。以下、HDD）に記録された映像・音声を、パーソナルコンピュータ（以下、PC）で再生するソフトウェアです。本ソフトウェアでは、日時やその他の条件で検索して再生したり、静止画像の保存および印刷を行うことができます。また、HDDのメンテナンスとして、HDDの検査処理も実施できます。

システム構成



メモ

- HDDの取り出しかたについては、本機の取扱説明書 基本編をお読みください。

必要なPCの環境

本ソフトウェアを使用するためには以下の環境を持つPCを推奨します。

CPU	Pentium® 4 3.0 GHz以上
メモリー	512 MB以上（ただし、Microsoft® Windows Vista®をお使いの場合は1 GB以上）
インターフェース	USBポート（USBポート2.0準拠）×2を備えていること
空きハードディスク容量	200 MB以上
サウンド機能	サウンドカード（音声機能を使用する場合）
画像表示機能	解像度：1 024×768ピクセル以上 発色：True Color 24ビット以上
対応OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2日本語版 Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版 Microsoft® Windows Vista® 32ビット日本語版
その他	CD-ROMドライブ（取扱説明書および本ソフトウェアをインストールするため） Adobe® Reader®（取扱説明書を閲覧するため）

※本ソフトウェアのインストールや起動は、管理者権限を持つユーザーで行ってください。管理者権限を持つユーザー以外のユーザーがインストールまたは起動した場合の動作の保証はしません。

メモ

- 推奨以外の環境のPCを使用した場合には、画面の描画が遅くなったり、本ソフトウェアが操作できなくなるなどの不具合が発生する恐れがあります。

商標および登録商標について

- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet ExplorerおよびActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2日本語版をWindows XPと表記しています。

Microsoft® Windows Vista® 日本語版をWindows Vistaと表記しています。

著作権について

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ② お客様の誤使用や不注意による損害または本商品の破損等
 - ③ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示できないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
 - ④ お客様による監視画像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体等によるプライバシー侵害等を理由とするいかなる賠償請求、クレーム等

もくじ

はじめに

商品概要	2
システム構成	2
必要なPCの環境	3
商標および登録商標について	3
略称について	3
著作権について	4
免責について	4

準備

インストールする	6
HDDとPCを接続する	7
起動する	8
メイン画面について	9
操作の流れ	10

操作

PCに接続したHDDを選択する	11
HDDに記録された画像を再生する	12
日時を指定して検索再生する	14
アラームリストを検索して再生する	15
再生一時停止中の画像を保存する	16
再生一時停止中の画像を印刷する	17
HDDの検査を行う	18

その他

故障かな!?	19
--------------	----

はじめに

準備

操作

その他

インストールする

本ソフトウェアをPCにインストールします。
インストールはダイアログボックスの指示に従って行います。
本書ではWindows XPの標準設定を例に設定方法を説明します。
その他のOSを使用している場合、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

STEP1

本機に付属されているCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。

STEP2

CD-ROM内のHDD Viewerフォルダにある「hd180vsetup.exe」をダブルクリックします。
→インストールを開始するかどうかの確認画面が表示されます。

STEP3

[次へ] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストールを行います。
標準設定のままインストールすると、「C:¥Program Files¥Panasonic¥WJ-HD180¥HDD Viewer」フォルダが作成され、本ソフトウェアのファイルがコピーされます。
インストールが完了すると、実行ファイルがスタートメニューに登録されます。また、ショートカットがデスクトップに作成されます。

//重要//

- インストール時にコピーされるファイルを編集、削除、移動しないでください。本ソフトウェアが正常に動作できなくなります。
- 本ソフトウェアを再インストールする場合は、必ずアンインストールしてから行ってください。

アンインストールするときは

本ソフトウェアをアンインストールするときは、以下の手順で操作します。

STEP1

[コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] を選択します。
→「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

STEP2

[HDD Viewer for HD180] を選択し、[削除] ボタンをクリックします。
以降、画面の指示に従って操作します。

HDDとPCを接続する

本機で画像を録画したHDDと本ソフトウェアをインストールしたPCを接続します。

STEP1

本機で画像を録画したHDDを取り出します。

メモ

- HDDの取り出しかたについては、本機の取扱説明書 基本編をお読みください。

STEP2

取り出したHDDと本ソフトウェアをインストールしたPCを接続ユニット（推奨）またはインターフェースケーブル（USB-SATA、市販品）を使って接続します。

メモ

- インターフェースケーブルについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

STEP3

[マイコンピュータ] で接続したHDDが認識されていることを確認します。

接続したHDDは「ローカルディスク (*)」と表示されます。

!!重要!!

- PCに接続されたHDDは「ローカルディスク (*)」として認識されます ((*) の表示は、PCのシステム構成によって変わります)。このローカルディスクに対しては、以下の操作を行わないでください。本機、本ソフトウェアでの再生ができなくなります。
 - ・フォルダ／ファイルの移動・削除
 - ・フォルダ／ファイルの編集（内容・属性など）
 - ・デフラグ操作
 - ・フォーマット

起動する

本ソフトウェアを起動します。

画面1

PCを起動した直後の画面から操作します。



STEP1

スタートメニューの [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [WJ-HD180] - [HDD Viewer for HD180] を選択するか、デスクトップにある [HDD Viewer for HD180] アイコンをダブルクリックします。

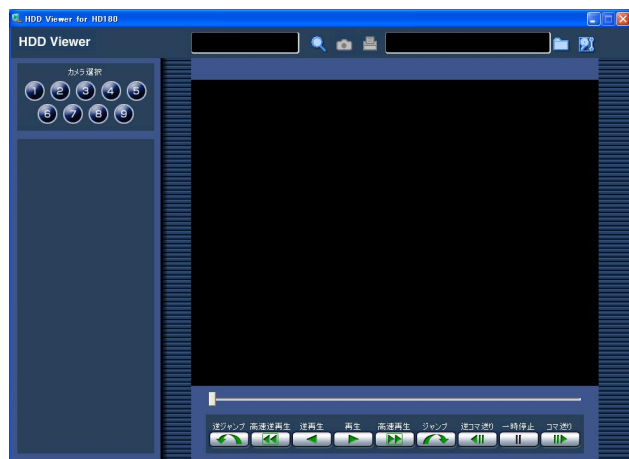
→本ソフトウェアが起動します。

!!重要!!

「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインし、本ソフトウェアを起動してください。

画面2

メイン画面が表示されます。



STEP2

本ソフトウェアの操作を終了するときは、画面右上の [×] ボタンをクリックします。

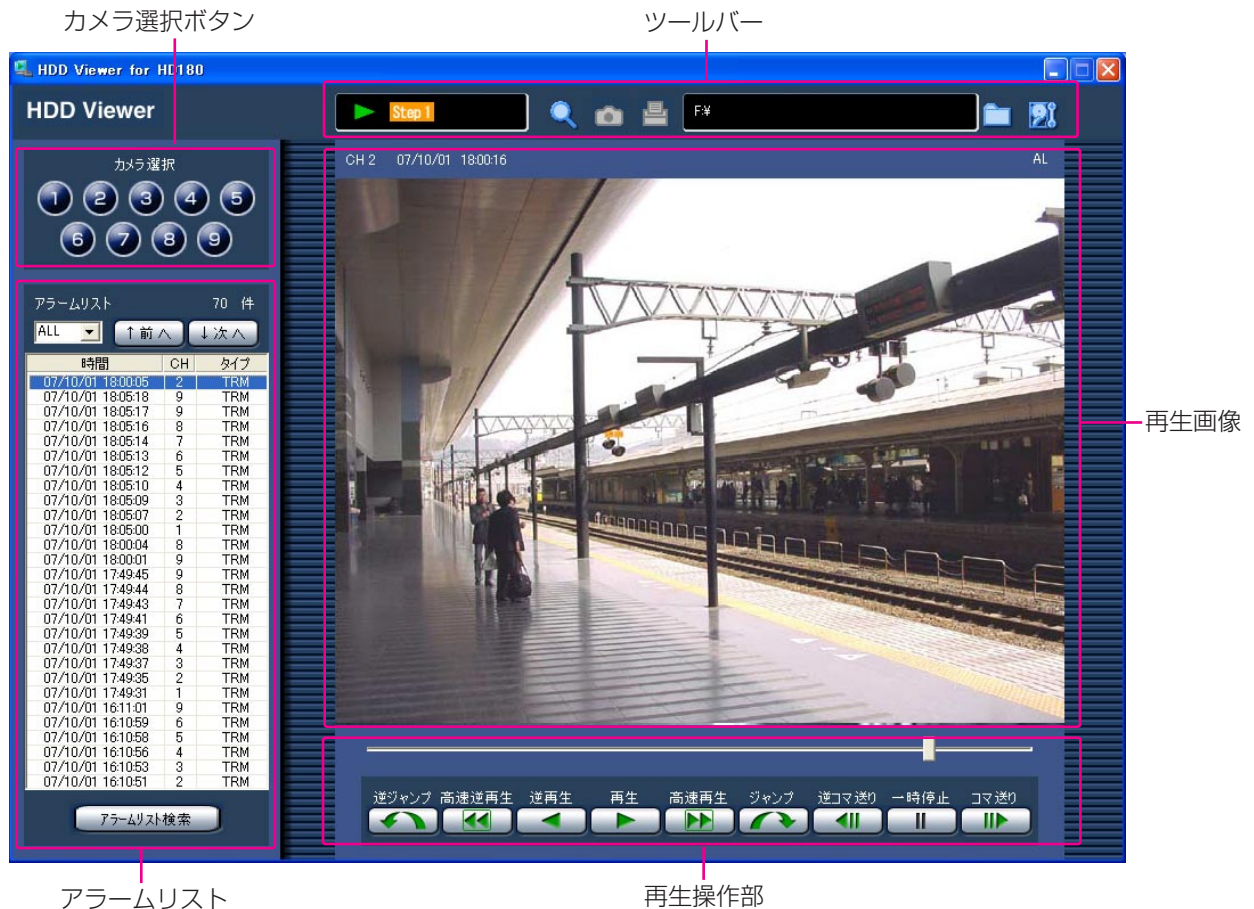
メモ

- HDD Viewerを起動すると、セキュリティの重要な警告画面が表示されます。この場合は、[ブロックを解除する (U)] ボタンをクリックしてください。

!!重要!!

- まれに外来ノイズや静電気などの影響で、HDDが正常に認識できなくなることがあります。この状態に陥ると、再生が止まったり、再生ができなくなります。このような場合、再度HDDを装着し、本ソフトウェアでHDDを再選択してください。

メイン画面について




準備



カメラ選択ボタン



再生したいカメラCHを選択します。


ツールバー


 (再生ステータス表示部)
：現在の再生状態と再生速度を表示します。

 日時検索ボタン
：再生したい日時を検索して再生します。

 保存ボタン
：再生一時停止中に表示している画像を保存します。再生一時停止以外の状態では  表示になり、クリックできません。

 印刷ボタン
：再生一時停止中に表示している画像を印刷します。再生一時停止以外の状態では  表示になり、クリックできません。

 HDD選択ボタン
：PCと接続したHDDを選択します。選択したHDDのパスがHDD選択ボタンの左に表示されます。

 HDD検査ボタン
：HDDの検査を実施します。

アラームリスト

HDDに記録されているアラームリストを一覧で表示します。
アラームリストが1件も無い場合は表示されません。

再生画像

再生画像を表示します。
上部左側にカメラCHと録画日時を表示します。
アラーム画像の場合、上部右側に「AL」と表示します。

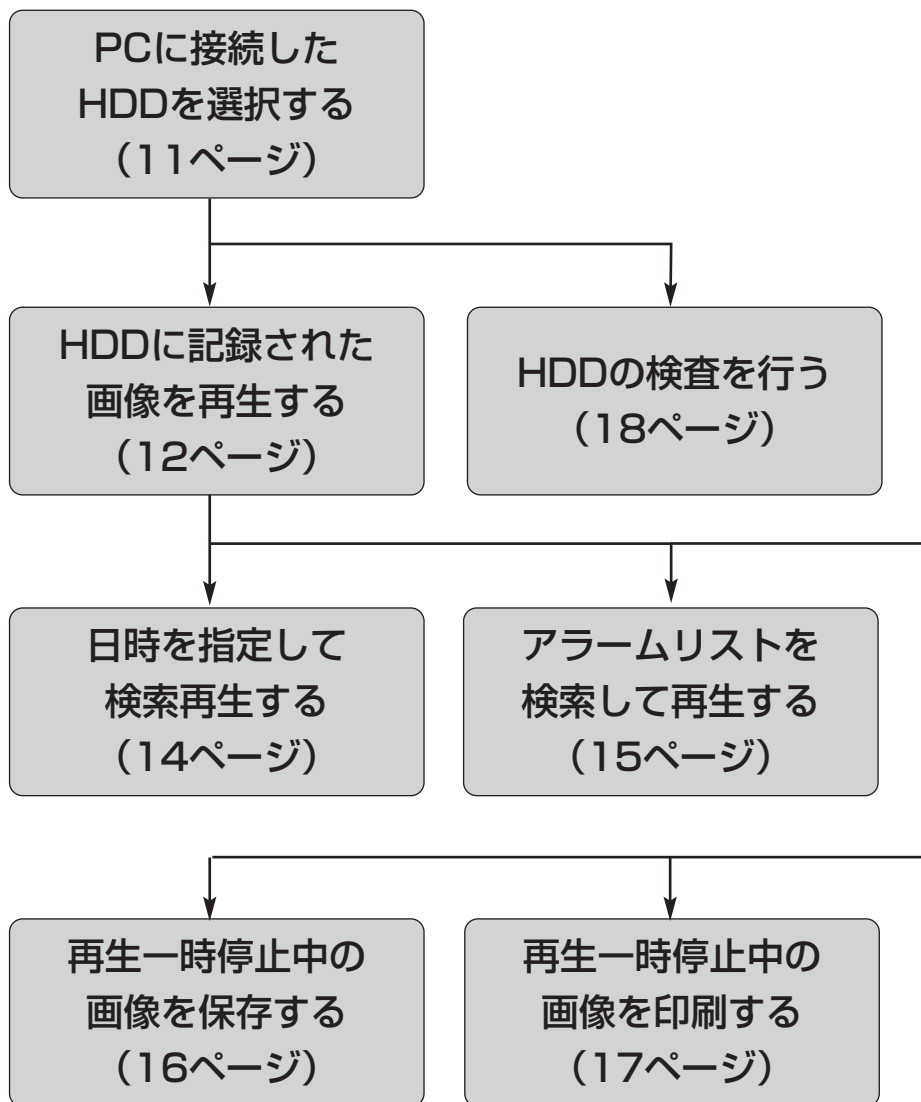
再生操作部

一時停止や高速再生、コマ送りなど、再生制御を行います。(P.12ページ)

スライダーは現在再生している位置を示しています。スライダーを動かすことによって、再生位置を移動させることができます。

操作の流れ

本ソフトウェアの操作は以下の手順で行います。

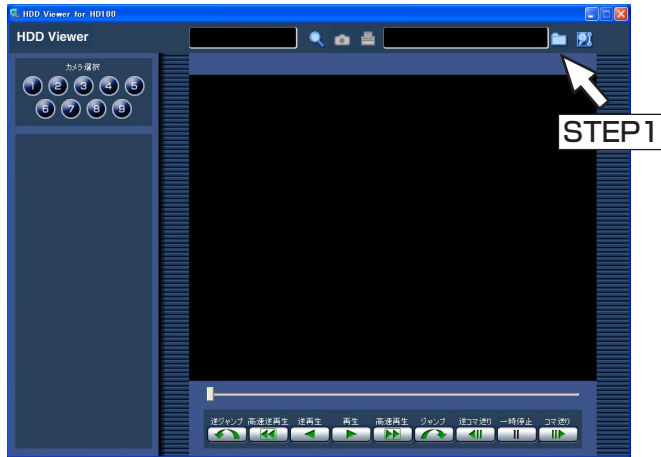


PCに接続したHDDを選択する

PCに接続したHDDを選択します。

画面1

本ソフトウェア起動直後のメイン画面から操作します。



STEP1

HDD選択ボタンをクリックします。

画面2

フォルダ参照画面が表示されます。



STEP2

PCと接続したHDD（ローカルディスク（*））を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

→読み込みが完了すると、ツールバーのHDD選択ボタンの左に選択したHDDのパスが表示されます。

メモ

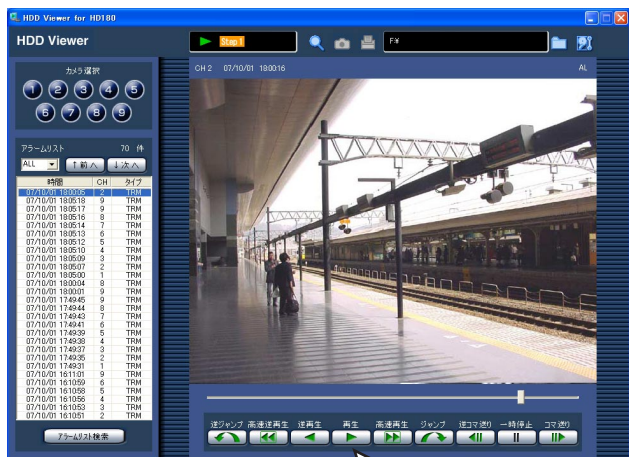
- （*）の表示は、PCのシステム構成によって変わります。

HDDに記録された画像を再生する

HDDに記録された画像を本ソフトウェアで再生します。

画面1


HDD選択後のメイン画面から操作します。



STEP1

STEP1

再生ボタンをクリックします。





→最古の録画画像から再生され、ツールバーの再生ステータス表示部に  が表示されます。

メモ

- スライダーは現在再生している画像データの再生位置を示しています。
- カメラ選択ボタンをクリックすると、再生する画像のカメラCHを指定することができます。選択したカメラCHの画像が無い場合は、黒画で表示されます。
- 再生している画像がアラーム録画の画像の場合、再生画像の上部右側に「AL」と表示されます。
- FSモードで録画した画像を再生した場合、カメラ画像が切り換わって表示されます。コマ送り再生などで、画像を確認してください。FSモードの詳細については、本機の取扱説明書 基本編をお読みください。

再生中の便利な機能

逆再生		●逆再生します。
一時停止		●再生中に押すと、再生を一時停止します。
コマ送り／逆コマ送り	 	<ul style="list-style-type: none"> ●操作は再生中、高速再生中、一時停止中などに行うことができます。 ●[コマ送り] ボタンを押すと、1コマ再生した後、一時停止します。 ●[逆コマ送り] ボタンを押すと前の1コマを再生した後、一時停止します。
高速再生／高速逆再生	 	<ul style="list-style-type: none"> ●[高速再生] ボタンをクリックするたびに再生速度がStep2 (約2倍) →Step3 (50枚とばし) →Step4 (100枚とばし) と切り換わります。 ●[高速逆再生] ボタンをクリックするたびに、逆再生速度がStep2 (約2倍) →Step3 (50枚とばし) →Step4 (100枚とばし) と切り替わります。 ●高速再生中、高速逆再生中に[再生] ボタン、[逆再生] ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。

ジャンプ/逆ジャンプ	 	<ul style="list-style-type: none"> ● [ジャンプ] ボタンをクリックすると、30秒間進んだ画像にスキップして再生します。 ● [逆ジャンプ] ボタンをクリックすると、30秒間戻った画像にスキップして再生します。
スライダー		<ul style="list-style-type: none"> ● 再生中に動かすと、再生が一時停止し、再生位置が移動できません。スライダーを動かして [再生] ボタンをクリックすると、移動した再生位置から再生します。
カメラ選択ボタン		<ul style="list-style-type: none"> ● 再生しているカメラ画像を切り換えます。選択したカメラCHにカメラが接続されていないなどで画像が無い場合、黒画になります。

メモ

- 再生しているカメラCHに画像が無く、他のカメラCHには画像がある場合、黒画で再生されます。
- 本機でマニュアル録画中、またはタイマー録画中のアラームの場合、プレアラーム録画の画像を再生すると、同じ時間帯の録画画像が2回再生されます。また、プレアラーム録画には音声は録音されませんので、音声は再生されません。
- 一時停止中にカメラ選択ボタンでカメラ画像を切り換えた場合、切り換え後の画像は1コマ進んだ画像になります。
- 高速再生または高速逆再生で終端または始端まで再生を行うと、黒画で一時停止になることがあります。その際はコマ送りなどで画像を表示してください。

音声再生について

- 音声の再生は順方向の等倍再生のみで行われます。
- お使いのPC環境（PCの性能や動作中のアプリケーション）によっては、再生時に表示される画像を音声の再生速度がずれることがあります。
- 再生開始時から90秒周期で音声再生をやり直す動作を行いますので、このとき音声途切れたように聞こえることがありますが、異常ではありません。

再生方向について

- 逆方向の再生（逆再生、逆コマ送り、高速逆再生）を行うと、その再生方向を保持するため、次に一時停止ボタンやジャンプボタンで再生を再開すると、逆方向の再生になります。

日時を指定して検索再生する

日時を指定して、その日時近くに録画された画像を検索し、再生します。

画面1

[日時検索] ボタンをクリックし、日時検索画面を表示します。



STEP1

再生したい画像の録画日時を指定します。

STEP2

[OK] ボタンをクリックします。

→指定した日時に一番近い画像が再生されます。

メモ

- 日時検索再生で表示されるカメラCHは、日時検索画面を表示する前に表示していたカメラCHです。再生するカメラCHに指定した日時の画像が無く、他のカメラCHに画像がある場合は、黒画が再生されます。

アラームリストを検索して再生する

アラームリストの中から再生したいアラームを選択して再生します（アラーム検索）。

アラームリストはカメラCHを絞り込み条件として検索できます。カメラCHを選択すると、選択したカメラCHで発生したアラームのみを表示できます。

アラームリストが1件も無いHDDを選択した場合、アラームリストは表示されません。

画面1

HDD選択後のメイン画面のアラームリストで操作します。

カメラCH指定ボックス

リストアップされたデータの件数

時間	CH	タイプ
07/10/01 18:00:05	2	TRM
07/10/01 18:05:18	9	TRM
07/10/01 18:05:17	9	TRM
07/10/01 18:05:16	8	TRM
07/10/01 18:05:14	7	TRM
07/10/01 18:05:13	6	TRM
07/10/01 18:05:12	5	TRM
07/10/01 18:05:10	4	TRM
07/10/01 18:05:09	3	TRM
07/10/01 18:05:07	2	TRM
07/10/01 18:05:00	1	TRM
07/10/01 18:00:04	8	TRM
07/10/01 18:00:01	9	TRM
07/10/01 17:49:45	9	TRM
07/10/01 17:49:44	8	TRM
07/10/01 17:49:43	7	TRM
07/10/01 17:49:41	6	TRM
07/10/01 17:49:39	5	TRM
07/10/01 17:49:38	4	TRM
07/10/01 17:49:37	3	TRM
07/10/01 17:49:35	2	TRM
07/10/01 17:49:31	1	TRM
07/10/01 16:11:01	9	TRM
07/10/01 16:10:59	6	TRM
07/10/01 16:10:58	5	TRM
07/10/01 16:10:56	4	TRM
07/10/01 16:10:53	3	TRM
07/10/01 16:10:51	2	TRM

アラームリスト検索

STEP1

アラームリストの中から再生したいアラームをクリックします。

アラームリスト表示について

リストアップされたデータの件数

: リストアップされたデータのトータル件数を表示します。

カメラCH指定ボックス (カメラ1~9、ALL)

: 表示したいカメラCHを選択します。「ALL」を選択すると、すべてのカメラCHのアラームリストが表示されます。

[↑前へ] ボタン: 前のリスト表示のページを表示します。

[↓次へ] ボタン: 次のリスト表示のページを表示します。

時間 : アラーム発生日時を表示します。

CH : 録画されているカメラCHを表示します。表示されているカメラCHで1画面再生が始まります。

タイプ : アラーム要因を表示します。

TRM : 端子アラームによる録画
VMD : VMDアラームによる録画

[アラームリスト検索] ボタン

: アラームリスト検索画面が表示されます。日時を入力してアラームリスト内のリスト検索が行えます。



メモ

- アラームリストは10 000件まで表示します。
- アラームリストに表示されるアラーム履歴はHDDが本機に接続されている際に発生したアラームの履歴です。以下の場合は、アラームリストからの再生はできません。
 - ・ アラーム発生時にもう一方のHDDに録画された場合 (HDD2台接続の場合)
 - ・ 上書き録画され、該当する画像が消えた場合
 - ・ HDDをフォーマットした場合 (HDDをフォーマットしてもアラームリストは消えません)

再生一時停止中の画像を保存する

表示している画像をPCにjpegファイルとして保存します。保存は再生一時停止中に行います。

画面1

再生を行っている画面から操作します。



STEP 1

一時停止ボタンをクリックします。

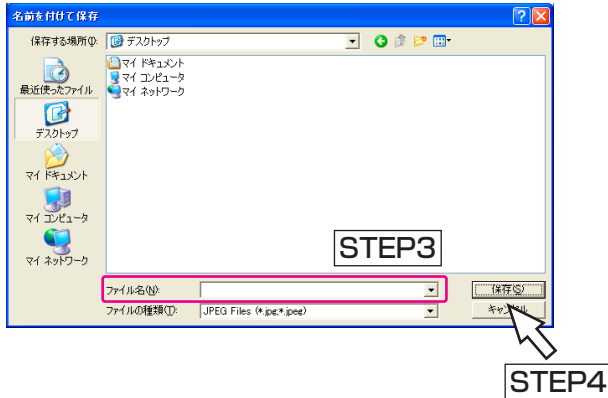
STEP 2

保存ボタンをクリックします。

操作

画面2

ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。



STEP 3

ファイル名を入力し、ファイルの種類：JPEG (*.jpg)であることを確認します。

STEP 4

保存先を確認し、[保存] ボタンをクリックします。
→画像データが保存されます。

再生一時停止中の画像を印刷する

再生一時停止中に、表示している画像をプリンターで印刷します。

画面1

再生を行っている画面から操作します。



STEP1

一時停止ボタンをクリックします。

STEP2

印刷ボタンをクリックします。

→印刷確認パネルが表示されます。印刷するプリンターを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

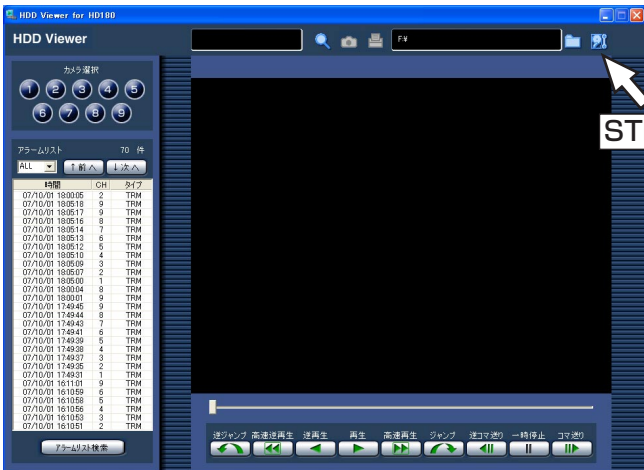
HDDの検査を行う

HDDのメンテナンスとして、HDDの検査処理を行います。

HDDを保存する場合、月に1回程度の頻度で以下の操作を行い、HDDのメンテナンスを行ってください。

画面1

HDD選択後のメイン画面から操作します。



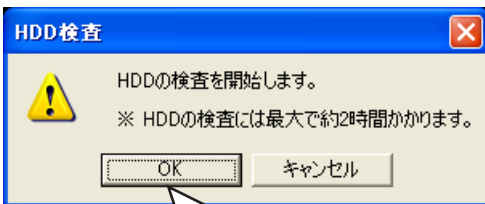
STEP 1

HDD検査ボタンをクリックします。

操作

画面2

HDDの検査を開始する確認の画面が表示されます。



STEP 2

[OK] ボタンをクリックします。
→HDDの検査処理が開始されます。


!! 重要 !!

- HDDの検査処理は、160 GBのHDDで約2時間かかります。検査処理中は再生などの操作はできません。
- HDDの検査処理でエラーが発生した場合、エラーが発生した画面を表示して停止します。エラーが発生した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- HDDの検査処理中にHDDをPCから取り外さないでください。HDDの検査処理中にHDDを取り外した場合、HDDが故障したり、PCに異常が発生する場合があります。PCに異常が発生した場合は、PCを再起動してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
PCに接続したHDDが認識されない	<ul style="list-style-type: none">● HDDが正しく接続されていますか？● PCとHDDの接続に接続ユニット、または弊社推奨品のインターフェースケーブルを使用していますか？インターフェースケーブルについてはお買い上げの販売店にご相談ください。	—
再生画像が止まる、再生できない	<ul style="list-style-type: none">● HDDが認識できていますか？ HDDが認識できている場合は、本ソフトウェアでHDDを再選択してください。● それでも再生できない場合や、HDDが認識できない場合、または本ソフトウェアで以下のようなポップアップ画面が表示された場合は、再度HDDを装着してから、本ソフトウェアでHDDを再選択してください。 	7,8,11
再生画像が止まる	<ul style="list-style-type: none">● 録画ルートが低い（画像間隔が長い）録画画像ではありませんか？ コマ送り、高速再生などで次の画像を表示させてください。	12
音声再生されない	<ul style="list-style-type: none">● PCにサウンドカードは実装されていますか？● 音声が絞られていませんか？● 音声ありの設定で録画されたHDDですか？	取扱説明書 設定編

松下電器産業株式会社

パナソニック システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410